主管課名(担当名)						
事務事業名		観光事業振興経費			事業番号	134
重点プロジェクト	■該当	口非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5–9 自然・歴史・食観光の振興
心水体示との民連	施策目標	自然・歴史・食などの多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

2 FMFAVMACIN					
対象	事務や事業が対象としている人 や団体など	観光客·根室市観光協会			
	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる。			
活動内容	所管施設の維持・管理、観光客受入体制の強化及び関連団体への補助金等交付				
(事業の概要や具体的な内容、方法など)	・観光地トイレ維持管理、観光地用地借上、その他施設修繕ほか ・観光協会補助金、港まつり負担金、盆踊り負担金ほか				
意 図					
(どの様な成果を得ようとして いるのか)	当該事業の推進により観光客の誘致に期待できる。				

3 .	事務事業の現状								
	活動指標名				実績値		目標値	目標値	
			H28	H29	H30	R1	R2	(R2)	(R7)
1	港まつり来場者数	20,700人	23,400人	21,000人	19,100人	12,000人	-	21,000人	20,000人
2	かに祭り来場者数	15,800人	20,700人	10,400人	15,500人	14,000人	-	16,000人	17,000人
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R2予算		R2決算		R3予算	
	李未真(一下記四部部)				29,592 28,049		28,049	36,467	
	国道支出金								
内	地方債								
訳	その他						6,457		
	一般財源			29,592 28,0		28,049	30,010		
人員	(人工)			0.25		0.25		0.25	
職員	職員人件費 (=人員(人工)× 7,673 千円)			1,918		1,918		1,918	
総事業費 (=事業費+職員人件費)					31,510		29,967		38,385
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)					_		_		
単位	コスト実績値 2(=総事業費÷成果	実績値)			_		_		

(事前評価にかかげた課題	について記入)
見直し状況	□検討中 ■見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	観光客へのホスピタリティ向上を目的とした受入体制の強化が必要であり、利便性・快適性を図るため、受入環境整備を推進していく。
今後の動向・市民ニーズなど	市や観光協会が中心となって各種イベントの開催、観光客誘致の促進、受入体制の強化に関する施策を実施することにより、交流人口の増加による地域経済の活性化が図られることから、市民や観光関連事業者からのニーズは高く、今後も継続予定である。
5 事務事業の評価	
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 びついていますか	観光客の利便性や安全な衛生環境の提供(施設・設備の整備)、リピーターの確保(イベントの開催)など、観光客の誘致促進につながるものを本事業で継続して実施していることから、有効に結び ついている。
	□可能 ■一部可能 □不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	観光協会の現状体制を踏まえれば、事業全体の取り組みは不可能と思われるが、一部は可能であり、既に実施している。(根室半島周遊バス運行事業等)
	□ある ■一部ある □ない
ゥ 事業内容の中で、見直し ウ を行う必要はありますか	観光客誘致及び受入体制の整備については、日々変わる観光ニーズに柔軟に対応でき、且つ効率的・効果的な方法を今後も引き続き、調査・研究していく必要がある。また、各観光イベントの内容においても、随時、改善していく必要がある。
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	既に事業費を工夫してコストを削減しており、また、市内の経済状況の先行きが不透明であり、寄附 金についても顕著な落ち込みが見られ、これ以上のコスト削減は、イベントの執行そのものに影響が 出かねない厳しい状況であるが、引き続きアイデアを模索する。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい て可能性がありますか	事業の基本施策に内容などについては、類似している事業があるが、事業活動内容及び意図が異なっているため、統合の可能性は低い。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	事業の性格上、受益者負担は困難であり、可能性は低い。
6 事務事業の今後の方[向性
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

主管課名(担当名)		商工労働額	見光課(観光振興担当			
事務事業名		観光事業振興経費			事業番号	10180
重点プロジェクト	■該当	□非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
ルス件示との民連	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人 や団体など	観光客・根室市観光協会・さんま祭り協賛会ほか			
	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる。			
活動内容	観光PRの推進、イベント開催による観光客及び教育旅行の誘致推進 ・観光地設備等修繕、観光PR用務ほか ・さんま祭り負担金、教育旅行協議会負担金、ニムオロ冬の祭典負担金ほか				
(事業の概要や具体的な内容、方法など)					
意 図					
(どの様な成果を得ようとして いるのか)	当該事業の推進により、観光客の誘致促進・交流人口の拡大に期待できる。				

3 争榜争某の現状		計画値		実績値					目標値
	活動指標名		H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)	日1条1但 (R7)
1	観光イベント回数	6回	6回	6回	6回	6回	2回	6回	6回
2	根室半島周遊バス運行事業補助	1,950千円	1,950千円	1,810千円	1,780千円	1,570千円	1,660千円	1,950千円	1,950千円
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R2-7	算	R2決算		R3予算	
ず木具(̄ ゚ロレトフロ/ロ /			25,808		17,797		24,745		
	国道支出金			1,900 1,660		2,100			
内	内 地方債								
訳	訳 その他			23,908 16,137		22,645			
	一般財源								
人員	(人工)			0.25		0.25		0.25	
職員人件費 (=人員(人工)× 7,673 千円)			1,918			1,918		1,918	
総事業費 (=事業費+職員人件費)					27,726 19,7		19,715		26,663
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)				13,863 9,85		9,858	58		
単位	単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)				17		12		

(事前評価にかかげた課題	
見直し状況	□検討中 ■見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	観光客へのホスピタリティ向上を目的とした受入体制の強化が必要であり、利便性・快適性を図るため、受入環境整備を推進していく。
今後の動向・市民ニーズなど	市や観光協会が中心となって各種イベントの開催、観光客誘致の促進、受入体制の強化に関する施策を実施することにより、交流人口の増加による地域経済の活性化が図られることから、市民や観光関連事業者からのニーズは高く、今後も継続予定である。
5 事務事業の評価	
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 びついていますか	観光客のニーズに適切に対応しており、誘致促進につながる事業であることから、有効に結びつい ている。
	□可能 ■一部可能 □不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	一部の事業で財源の確保が出来れば他団体等での実施も可能なものも考えられるが、管内連携事 業やイベント、観光地の修繕など市が中心となる事業については不可能である。
	□ある ■一部ある □ない
事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	観光客誘致及び受入体制の整備については、日々変わる観光ニーズに柔軟に対応でき、且つ効率 的・効果的な方法を今後も引き続き、調査・研究し、改善していく必要がある。
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	既に事業内容を工夫して、コスをト削減しており、これ以上のコスト削減は、イベントの執行そのもの に影響が出かねない厳しい状況である。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい て可能性がありますか	事業の基本施策の内容などについて、類似事業はあるが、事業活動内容及び意図が異なっている ため、統合の可能性は低い。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	事業の性格上、受益者負担は困難であり、可能性は低い。
6 事務事業の今後の方[向性
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

主管課名(担当名)						
事務事業名		白鳥台センター整備事業			事業番号	12103
重点プロジェクト	■該当	□非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
ルスや木との民建	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人 や団体など も団体など						
\(\gamma\)	対象者の今後の予想	安心・安全に施設を利用できる					
活動内容	根室市の観光の玄関口である白鳥台センターは、地場産品を用いた食事の提供・特産品の販売な ど、市民・観光客から安定した人気を維持しているところであるが、オープンから20年以上が経過し						
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)	ており、老朽化により施設の利用	ており、老朽化により施設の利用に一部不安を招いて状況にあることから、利用者にとって安全・安心して利用していただくため、施設の改修を行う。					
意 図 (どの様な成果を得ようとして いるのか)	受入環境整備により、利用者の3 の増加や観光による経済波及効	マ全が確保され、安心して施設の利用をすることができ、交流人口 果の拡大につながる。					

3 争効争果の現状		計画値		実績値				目標値	目標値
	活動指標名		H28	H29	H30	R1	R2	(R2)	(R7)
1	施設改修	1ヵ所	-	-	-	-	1ヵ所	1ヵ所	-
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R2-7	序算	R2決算		R3予算	
	T (HOF 78 (1	17			1,180		5,055		
	国道支出金								
内	地方債								
訳	その他				1,100		1,100		
	一般財源				80 80		80	5,055	
人員	(人工)			0.08		0.08	8 0.08		
職員	人件費 (=人員(人工)×	7,673	千円)	614		614		614	
総事業費 (=事業費+職員人件費)			1,794		1,794			5,669	
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)				1,794		1,794			
単位	コスト実績値 2(=総事業費÷成果	実績値)							

(事削評価にかかけた課題)	C D C C E C C
見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	新型コロナウィルス感染症が終息すると、旅行者が増加することが予想されるため、施設入込増に も期待できる。
5 事務事業の評価	
3 争物争系の計画	
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	安全・安心に利用していただくことでリピーターの確保に繋がり、交流人口の拡大、観光消費による 地域経済の活性化に期待できるため有効に結びついている。
	□可能 □一部可能 ■不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	市の所管施設であり、市が実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	□ある □一部ある ■ない
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	現時点ではない。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	現時点ではない。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	現時点ではない。
6 事務事業の今後の方[向性
今後の方向性	□現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) ■終期設定あり (R3年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

主管課名(担当名)			商工労働観光課(観光振興担当)						
	事務事業名		バードウォ	ッチング観光推進事業	Ī	事業番号	12272		
	重点プロジェクト ■該当 □非該当 言		評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託			

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など 観光客、ねむろバードランドフェスティバル実行委員						
A) 55.	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる。					
活動内容	野鳥観察環境の一層の整備・充実を図り、国内外の野鳥愛好家の誘客や新たな観光客の掘り起こ						
(事業の概要や具体的な内容、方法など)	しを推進するもの。 ・ねむろバードランドフェスティバル	ル負担金、野鳥観察舎維持管理ほか					
意 図							
(どの様な成果を得ようとして いるのか)	当該事業の推進により、観光客の	D誘致促進・交流人口の拡大に期待できる。					

3 .									
活動指標名		計画値		実績値					目標値
	心到泪保石	(H27)	H28	H29	H30	R1	R2	(R2)	(R7)
1	ねむろバードランドフェスティバル来 場者数	600人	900人	900人	1,100人	900人	-	1,000人	1,000人
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R2-	算	R2∌	集	R3予算	
	サネ貝(一ド配りがの	17			4,159 4,059		10,598		
	国道支出金								
内	地方債								
訳	その他			4,159		4,059		10,598	
	一般財源								
人員	(人工)			0.17		0.17		0.17	
職員	人件費 (=人員(人工)×	7,673	千円)	1,304		1,304		1,304	
総事業費 (=事業費+職員人件費)			5,463		5,363			11,902	
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)				-		-			
単位	コスト実績値 2(=総事業費÷成果	実績値)							

(事前評価にかかげた課題	について記入)
見直し状況	□検討中 ■見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	野鳥観光の振興を目的に受入体制の強化を図り、利便性や快適性についても考慮しており、こうし た点を踏まえ、施設の整備を今後も実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	観光協会が中心となってイベントの開催、観光客誘致の促進、受入体制の強化に関する施策を実施し、交流人口の増加による地域経済の活性化を図り、市民や観光関連事業者との共同のもと事業を継続する予定である。
5 事務事業の評価	
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 びついていますか	バードウォッチャーのニーズに対応しており、観光客誘致に繋がる事業であることから、有効に結び ついている。
	■可能 □一部可能 □不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	財源の確保ができれば他団体等での実施も可能
	□ある ■一部ある □ない
ゥ 事業内容の中で、見直し ウ を行う必要はありますか	観光客誘致及び受入体制の整備については、日々変わる観光ニーズに柔軟にでき、且つ効率的・ 効果的な方法を今後も引き続き、調査・研究し、改善していく必要がある。
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	既に事業内容を工夫してコスト削減しており、これ以上のコスト削減は、イベントの執行そのものに影響が出かねない厳しい状況である。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	他の事業とは事業活動内容及び意図が異なっているため、統合の可能性は低い。
	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	各種ツアーの参加者から参加料の負担をいただいている。
6 事務事業の今後の方[向性
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

主管課名(担当名)			商工労働観光課(商工振興担当)						
	事務事業名		首都圈PR出展事業			事業番号	12813		
	重点プロジェクト	「プロジェクト ■該当 □非該当 評価時期		■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託			

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	関係団体、事業所、市民					
), 3r.	対象者の今後の予想	同程度					
活動内容	根至の新鮮で良質な水座物の普及重伝・販路拡入などを行う団体である「ねむら水座物普及推進協議会」と連携し、首都圏において不特定多数の消費者に対し、根室の自然・観光・歴史の魅力を						
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)		紹介するアトラクションの実施及び地場産品の対面販売等を行うことで、根室市の知名度向上による交流人口の増大や、地場産品の消費拡大を図るとともに、根室地域の経済の活性化に寄与する					
意 図	事業実施により、首都圏の不特定多数の消費者に対し、地域の歴史・自然観光資源や地場産は						
(どの様な成果を 得 ようとして いるのか)	良さなど、根室市の魅力をPRする。	ることができ、根室地域の経済の活性化に寄与することが期待され					

活動指標名		計画値			実績値			目標値 (R2)	目標値 (R7)
		(R1)	H28	H29	H30	R1	R2		
1	首都圏PR出展事業の開催回数(累 計)	0回	-	-	-	-	0回	1回	6回
2	首都圏PR出展事業の出展事業所数	0事業所	-	-	-	-	0事業所	15事業所	20事業所
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R2予算		R2);	央算	R3予算	
	デ 木具(= pur ip/q	17			5,053		0		5,053
	国道支出金								
内	地方債								
訳	その他	5,053				5,053			
	一般財源				0				
人員	(人工)			0.17		0.00	0.17		
職員	人件費 (=人員(人工)×	7,673	千円)	1,304		0		1,304	
総事業費 (=事業費+職員人件費)				6,357		0		6,357	
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)					-		-		
単位	コスト実績値 2(=総事業費÷成果	実績値)							

(事前評価にかかげた課題	こついて記入)
見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、今後の会場を含めた実施方 法について検討が必要である。
今後の動向・市民ニーズなど	事業実施により、交流人口の増大や地場産品の認知度向上による消費拡大が期待され、地域経済 の活性化に寄与することから、参加事業所を含めニーズは高い。
5 事務事業の評価	
	□結びついている ■一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	令和2年度はコロナウイルス感染症の影響により中止となったが、事業実施により、交流人口の増 大や地場産品の認知度向上による消費拡大が期待され、地域経済の活性化に寄与することから、 参加事業所を含め、市民ニーズは高い。
	□可能 □一部可能 ■不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	首都圏の消費者に対し根室市のネームブランドを浸透させるためには、関係団体と連携しながら市が主体となって根室市の魅力をPRすべきである。
	□ある ■一部ある □ない
ウ 事業内容の中で、見直し ウ を行う必要はありますか	実施結果に応じて、定期的に見直しをかける。
	□ある ■一部ある □ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	実施規模の見直し等によりコスト削減は可能。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい て可能性がありますか	他に類似する事業もなく統合の可能性はない。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	_
6 事務事業の今後の方[向性
今後の方向性	□現状のまま継続 ■見直しのうえで継続 (□拡充 ■手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

主管課名(担当名)		商工労働観光課(観光振興担当)					
事務事業名	務事業名 事:			観光客受入環境整備事業			
重点プロジェクト	■該当	口非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託	

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5–9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など のはなど のは、						
	対象者の今後の予想 増加が見込まれる						
活動内容	近年、外国人観光客等を含む観光客が増加しており、市内観光地の受入環境の整備を進めること により、リピーター確保に繋げたい。						
(事業の概要や具体的な内容、方法など)	・納沙布岬トイレの洋式化等整備工事 ・飲食店等における多言語メニュー表の設置補助						
意 図 (どの様な成果を得ようとして いるのか)	観光地トイレやインバウンドの受入環境整備を整備することで、観光客のリピーター確保に繋がり、 交流人口が拡大され観光消費による地域経済の活性化に期待できる。						

活動指標名		計画値		実績値				目標値	目標値
		前 闽 旭 (R1)	H28	H29	H30	R1	R2	日 (保) (R2)	日保旭 (R7)
1	多言語メニュー導入店舗数	0件	-	-	-	-	0件	10件 20	
2	納沙布岬トイレ改修進捗率	0.0%	-	-	_	-	50.0%	50.0%	100.0%
3									
4									
★## /				R2- <u>7</u>	算	R2決算		R3予算	
事業費(=下記内訳計)				33,375		26,180		27,863	
	国道支出金				14,600	11,760		10,200	
内地方債									
訳	その他			17,575 14,420		14,420		17,663	
	一般財源				1,200				
人員	(人工)				0.17		0.17		0.17
職員人件費 (=人員(人工)× 7,673 千円)				1,304		1,304		1,304	
総事業費(=事業費+職員人件費)					34,679		27,484		29,167
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)					-		-		
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)					694		550		

(事前評価にかかげた課題	について記入)
見直し状況	□検討中 ■見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、多言語表示メニューの設置補助については、現状では事業実施できる状況にないため、インバウンドの回復状況を見据えて実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	新型コロナウィルスワクチン接種が始まり、今後、国内外からの観光客が増加することが予想され る。
5 事務事業の評価	
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	観光地トイレの整備については旅行をする上で重要なコンテンツであり、トイレの印象が観光地及び 旅行の印象を決めるものと考えており、有効に結びついている。
	□可能 □一部可能 ■不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	市の施設であるため不可能である。
	□ある ■一部ある □ない
ウ 事業内容の中で、見直し ウ を行う必要はありますか	多言語表示メニューの設置補助の実施時期。
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. をエ夫できるアイデアは ありますか	現時点ではない。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい て可能性がありますか	現時点ではない。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	現時点ではない。
6 事務事業の今後の方[句性
今後の方向性	□現状のまま継続 ■見直しのうえで継続 (□拡充 ■手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

	主管課名(担当名)		商工労働観光課(観光振興担当)						
事務事業名 観光情報			観光情報夠	発信推進事業		事業番号	12814		
	重点プロジェクト	■該当	□非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5–9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人 や団体など 観光客					
	対象者の今後の予想	増加が見込まれる				
活動内容 (事業の概要や具体的な内 容、方法など)	現在、根室市の持つ観光素材をPRする媒体が10年以上前に作成した映像のみであり、現状の根室市の観光素材を十分にPRできるものとなっておらず、多言語対応にもなっていない。国内外からの新たな観光客の誘致を図り、交流人口を拡大させるために、総合的な多言語対応のプロモーション動画を作成し、国内外へ情報発信する。					
意 図 (どの様な成果を得ようとして いるのか)	国内外へ積極的に観光情報を発信し、観光客誘致を図ることにより地域経済の活性化に繋げたい					

活動指標名 計画値 (R1) H28				実績値	口捶坊	目標値			
		前 四 旭 (R1)	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)	(R7)
1	観光プロモーション動画の作成数	0本	-	-	-	-	0本	1本	1本
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			R2-7	算	R2決算		R3予算		
	李朱真(一个配件訳研)			11,300 0		0			
	国道支出金				5,000	,000			
内地方債									
訳	その他								
一般財源					6,300				
人員(人工)					0.17		0.00		
職員人件費 (=人員(人工)× 7,673 千円)				1,304		0			
総事業費 (=事業費+職員人件費)				12,604		0			
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)					-		-		
単位	コスト実績値 2(=総事業費÷成果	実績値)							

――(事削評価にかかけた課題	について能人)
見直し状況	□検討中 ■見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	新型コロナウィルス感染症拡大の影響の影響により、制作スタッフの往来による感染のリスク、撮影素材の不足等、懸念される要素が多いため、新型コロナウィルス感染症の感染状況に注視し、適切な時期に実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、宿泊施設や飲食店等において大きな影響を受けており、アフターコロナーを見据えて観光客誘致に向けて情報発信する。
5 事務事業の評価	
5 争伤争未の計画	□結びついている □一部結びついている ■結びついていない
ァ. 意図する成果に有効に結 ア. ぴついていますか	
	□可能 □一部可能 ■不可能
市以外がその事業に取り イ.組むことは可能ですか (民間、NPO等)	根室市のプロモーション動画であるため、市が実施すべき。
	□ある ■一部ある □ない
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、世界の情勢が変わってきているので、コロナ禍に対 応した事業内容にする必要がある。
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	現時点ではない。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	現時点ではない。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	現時点ではない。
6 事務事業の今後の方	
今後の方向性	□現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) ■休止 □廃止 □完了